

「伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン」の主な変更点について

(1) 基礎資料の追加、数値及びグラフの追加・修正

主な変更箇所	内容	ビジョンのページ
第 1 章 定住自立圏共生ビジョンの基本的事項	圏域名称等の修正	P 1~2
第 2 章 圏域の概況と将来像	山添村の概要追加、数値及びグラフの追加・修正、定住自立圏の経緯を追加	P 3~16
第 3 章 伊賀・山城南・東大和定住自立圏の取組	山添村の協定項目を追加、事業の見直しによる体系図の修正	P 17~20

(2) ビジョン中の事業内容等の見直し、施策の KPI の目標値及び事業費等の追加・修正

【見直しのポイント】

- ①山添村加入による修正
- ②進捗管理及び効果検証の結果による事業の見直し

①山添村加入による修正

事業No.	1612	事業名	河川整備事業	P47
変更前		変更後		変更理由
木津川の河川改修など治水対策の要望を行い、地域の安全の向上を図ります。また、会議や研修会などを開催し、情報交換や連携の強化、知識の習得を進めます。		木津川の河川改修など治水対策や砂防事業の要望を行い、地域の安全の向上を図ります。また、会議や研修会などを開催し、情報交換や連携の強化、知識の習得を進めます。		山添村加入による事業内容の見直し。

事業No.	2311	事業名	道路整備事業	P55
変更前		変更後		変更理由
国道 163 号について、それぞれの府県で同盟会などを結んで要望等を行っています。それぞれの府県に要望し、冠水対策、バイパス化などの改良が進んでいます。今後は整備状況などについて情報交換会を開催し、連携した取組を進めます。		国道 163 号並びに名阪国道及び国道 25 号について、それぞれの府県で同盟会などを結んで要望等を行っています。それぞれの府県に要望し、冠水対策、バイパス化などの改良が進んでいます。今後は整備状況などについて情報交換会を開催し、		山添村加入による事業内容の見直し。

	連携した取組を進めます。	
--	--------------	--

事業No.	2212	事業名	SNSによる連携	P54
変更前		変更後		変更理由
事業名：SNSによる連携 事業概要：公式フェイスブックによる情報交流を行います。		事業名：SNS等による連携 事業概要：SNS等による情報交流を行います。		市町村により運用している情報発信ツールが異なるため、フェイスブックに限定せず、他のツールやホームページ等を加えるため。

施策のKPIの目標値			【変更前】	【変更後】	
政策	施策名	成果指標	目標値 (2021年度時点)	目標値 (2021年度時点)	ビジョンの ページ
防災	相互応援体制の確立	消防団との応援協定の締結 現状値：2 町村 (2018 (平成 30) 年度)	—	3 町村	P 48
地産地消	地産地消の推進と販路拡大	※山添村の指標を追加 項目：花香房 年間客数 現状値：9,945 人 (2018 (平成 30) 年中)	—	12,000 人	P57~58
内外交流	移住・交流施策の推進	移住情報の提供箇所数	25 箇所	28 箇所	P59
	空き家等対策推進事業	空き家バンク成約数	30 件	100 件	P60

②進捗管理及び効果検証の結果による見直し

【廃止】

施策名	事業No.	事業名	廃止理由	ビジョンの ページ
子育て支援事業の充実	1215	放課後児童対策事業	放課後児童クラブは、各町村で充足しているため。	P 26

【変更】

事業No.	1216	事業名	保育サービス等の広域実施		P26
変更前		変更後		変更理由	
<p>保育現場において、保育士が役職に応じた役割と責任を果たすとともに、職員間の連携強化により保育の質の向上につなげることを目的として、保育所（園）長並びに主任保育士を対象とした研修を外部講師を招いて、それぞれ年数回開催します。</p> <p>保護者の就労、疾病、冠婚葬祭など、一時的に家庭での保育が困難となる場合に、保育所（園）で子どもを預かります。</p>		<p>保育現場において、保育士が役職に応じた役割と責任を果たすとともに、職員間の連携強化により保育の質の向上につなげることを目的として、保育所（園）長並びに主任保育士を対象とした研修を外部講師を招いて、それぞれ年数回開催します。</p> <p>(以下削除)</p>		<p>全国的な保育士不足により、現状、伊賀市での受け入れは困難な状況にある。また、各町村で充足されているため。</p>	

【統合】

施策名	事業No.	事業名	統合後の事業		統合理由	ビジョンのページ
生涯学習活動の推進	1331	生涯学習推進啓発事業	1331	生涯学習推進事業	生涯学習活動の一つである公民館活動を含めた事業とする。	P 35
	1332	公民館事業				
変更前			変更後			
<p>多様な生涯学習事業（講座・研修会等）と連携し、圏域住民の生涯学習活動の幅を広げることにより、生きがい対策と地域社会貢献に繋がります。そして、住民が生涯にわたって学習できる環境を充実するとともに、相互で事業PRを行いながら、その学習の成果を様々な場面で生かせる生涯学習社会を実現します。</p>			<p>多様な生涯学習事業を圏域内で事業PRや連携を行ったり、交流会を開催することで、<u>圏域住民の生涯学習活動の幅を広げ、住民が生涯にわたって学習できる環境を充実させます。</u></p>			

【統合】

施策名	事業No.	事業名	統合後の事業		統合理由	ビジョンの ページ
相互応援体制の確立	1621	常備消防関係事業	1621	常備消防関係事業	事業内容が重複しているため。	P48～
	1622	救急活動関係事業				P49
変更前			変更後			
<p>事業概要</p> <p>火災・救急・救助活動のために消防車両など現場装備品の更新・整備を実施し、装備の充実により、円滑な消防活動を実施します。また、応援協定に基づく合同訓練・図上訓練を実施します。</p>			<p>事業概要</p> <p>火災・救急・救助活動のために消防車両など現場装備品の更新・整備を実施し、装備の充実により、円滑な消防活動を実施します。</p> <p>救急では、<u>お互いのMC*教育の充実、境界付近で発生した救急事案の連携強化、双方の病院受け入れ態勢の充実を図ります。</u>また、応援協定に基づく合同訓練・図上訓練を実施します。</p> <p>*MC（メディカルコントロール）：救急患者を現場から医療機関へ搬送する間に医師以外のもの（救急救命士を含む救急隊員）が応急処置を実施する場合、医師が必要な処置を指示あるいは指導して、それらの医行為の質を保障すること。</p>			